

講座詳細

介護技術①

生活の構成要素

- ・居住 ・コミュニケーション ・余暇 ・労働
- ・家計 ・育児 ・冠婚葬祭

身体・精神的側面
家事的側面
経済的側面
文料的側面
社会的側面

1. 介護技術の基本

(2) もっている力の活用と自立支援

- ◆利用者の持っている力（何が出来て、出来ないのか）を把握し、利用者のできることに焦点を当てること。
- ◆利用者が出来ることを活かしながら生活の維持・向上を図る。自己決定に基づく主体的な生活を送れるよう支援すること。

講座の内容解説

本講座では、まずは介護に必要なICF（国際生活機能分類）の視点に基づいた生活支援技術について学びます。次に介護技術の基本と、介護に必要なボディメカニクスの基本原則と活用について理解することで、ご利用者様の自立支援の観点にのっとった介護支援を学んでいきます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、現場や指導者によって介護技術や介助方法が違って何が正しいのか分からないとならないように、それぞれの介助技法の根拠となる論理を理解し、介助をするときにそもそも「なぜ」そうするのかを、その介助の技法についての根拠に基づいた解説ができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

講義タイトル	学習時間(分)
・研修の目的	3
・生活支援とは	2
・ICFの考え方	5
・生活支援技術とアセスメント	4
・生活に必要な行為を行う	6
・もっている力の活用と自立支援	5
・ボディメカニクスとは	4

■ 学習時間：合計55分

講義タイトル	学習時間(分)
・ボディメカニクスの基本原理	11
・重心と姿勢の安定	5
・介護に必要な5つの視点	5
確認テスト	5

Point

- ICFの視点に基づいた生活支援技術について学ぶことができる
- ボディメカニクスの基本原理と活用について理解することができる
- 介助の技法についての根拠に基づいた解説ができるようになる



担当者様のご意見

介護技法の根拠を理解し、解説ができるぐらいになれば、信頼されるスタッフにもなりますね。

講座詳細

介護技術②

1. 食事

- ①栄養を体内に取り入れ生命を維持する
- ②エネルギーを得る
- ③QOLを保つ

食事とは、生命を維持するうえで欠かせません。培ってきた食習慣に従って食事をするのは楽しみや満足感を増すことになります。しかし食事は精神面の影響を受けやすいことも特徴です。

2. 体位変換

- (1) 介助のポイント
- 介助における重要なポイント

⇒対象者ほどのように

観察、理解、負担の少ない選択

講座の内容解説

本講座では、ご利用者様の生活を支えるために、福祉職に必要な介護技術について学びます。基本的介護技術として、①体位変換②重心移動③移動・移乗④食事⑤入浴⑥排泄、それぞれの場面での介助をする際のポイントについて学んでいきます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、福祉の専門職として、身体のしくみとボディメカニクスの基礎を理解し、ご利用者様にとって適切な介護技術を根拠をもって実践できるようになること。ご利用者様の望む生活に向けての尊厳を守ったより良いケアができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

講義タイトル	学習時間(分)
・研修の目的	4
体位変換 ・介助のポイント	8
重心移動 ・介助のポイント	6
移動・移乗 ・介助のポイント	8
食事 ・介助のポイント	8

■ 学習時間：合計1時間

講義タイトル	学習時間(分)
入浴 ・介助のポイント	8
排泄 ・介助のポイント	13
確認テスト	5

Point

- 福祉職に必要な介護技術について学ぶことができる
- 身体のしくみとボディメカニクスの基礎を理解することができる
- ご利用者様の望む生活に向けてより良いケアができるようになる



担当者様のご意見

適切な介護技術を根拠を持って実践することは、とても大切なことです。